

# 令和6年度 学校評価における総合評価結果報告書

令和7年3月31日

学校法人菅藤学園 南山形幼稚園

## I 評価の概要

### 1 評価実施園並びに設置者

- (1) 実施園 : 南山形幼稚園  
所在地 : 山形県山形市大字松原159-4  
園長 : 松田 敦子
- (2) 設置者 : 学校法人菅藤学園  
所在地 : 同上  
理事長 : 菅藤 克彦

### 2 学校評価計画

#### ■ 学校評価の目的

- (1) 園の経営と教育活動について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、新たな目標や課題を見出し、幼稚園として組織的・継続的な改善を図ること。
- (2) 自己評価、保護者など園関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、幼稚園の説明責任を適切に果たすとともに、保護者・地域住民等の願いを理解し、幼稚園・家庭・地域の連携と協力による園づくりを進めること。
- (3) 学校評価の結果に応じて、設置者(学校法人)と行政機関に対して必要な支援や条件整備等の改善措置を講じるよう要望し、幼稚園における一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

#### ■ 園の経営と教育について

##### (1) 経営方針

子どもたちが「生涯にわたる生きる力の基礎」を身に付けられるよう、教育に必要な環境・人員・教材を取り揃え、学校法人立の幼稚園として今後も維持・継続していけるように、園の「教育理念・教育活動」を地域住民・保護者に丁寧に伝え広げ、少子化など私立学校にとって厳しい時代の中ではあるが、安定的に園児の定員充足を図りながら、信頼され、親しまれる、魅力ある幼稚園づくりを目指す。

##### (2) 教育目標

- ・強いからだ — 心身の調和のとれた発達をめざして
- ・かンがえる力 — 直接的・具体的な生活体験を通して豊かな感情や知的な感性の育成をめざして
- ・やさしい心 — さまざまな人とのふれ合いを通して人とかかわる力の育成をめざして

## ■ 学校評価の区分について

### (1) 自己評価

- ・評価者 ー 全教職員(14名)
- ・内 容 ー 経営方針や教育目標・教育計画等に照らして、その達成状況や取り組み状況について評価をする。

### (2) 学校関係者評価(①と②)

#### ① 保護者による評価

- ・評価者 ー 全保護者(136名)
- ・内 容 ー 経営方針や教育活動について、日頃の教育・保育活動や子どもの様子、広報等を通して、適切な経営や教育が行われているか、アンケート形式により評価をする。

#### ② 学校評価役員による評価

- ・評価者 ー 学園理事(1)・評議員(1)・PTA 会長(1) 計3名
- ・内 容 ー 教育活動、施設設備の参観をし「自己評価」・「学校関係者評価①」の結果もふまえつつ、経営や教育の達成状況や課題等について、学校関係者評価委員会を開催して評価をする。

### (3) 第三者評価

- ・評価者 ー 学識経験者・地区コミュニティーセンター所長
- ・内 容 ー 教育活動、施設設備の参観をし「自己評価」・「学校関係者評価①②」の結果をふまえつつ、教育活動その他の園経営の状況について、専門的視点から評価を行う。

## ■ 評価結果の公表について

「第三者評価」の結果がまとまった段階で「自己評価」・「学校関係者評価①②」を含めて「総合評価」として、職員・保護者・小学校を含む地域関係者・未就園児保護者等に結果を公表する。

「総合評価結果」は、本園の経営・教育の姿がありのままに伝わり、どのような園づくりを目指し、何を課題としているかがわかるように作成する。従って、紙面も出来るだけコンパクトにし、ホームページ版については見やすくなるよう、特に配慮をする。

なお「総合評価結果」作成については、会議記録・資料をもとに園事務局が行い、原稿段階で各評価委員にもお送りし、ご指導をいただきながら完成させることとする。

## 3 評価期間

### (1) 評価対象期間

令和6年4月1日～令和7年1月10日

### (2) 各評価の実施期日

#### ① 前年度自己評価(教職員)

…令和5年12月19日～令和6年1月9日

#### ② 前年度保護者アンケート(学校関係者評価①)

…令和5年12月19日～令和6年1月9日

③ 学校関係者評価②委員会(理事・評議員・PTA 会長)

…令和6年7月9日

④ 第三者評価委員会(東北芸術工科大学副学長・南山形コミュニティーセンター長)

…令和6年11月18日

⑤ 自己評価(教職員)

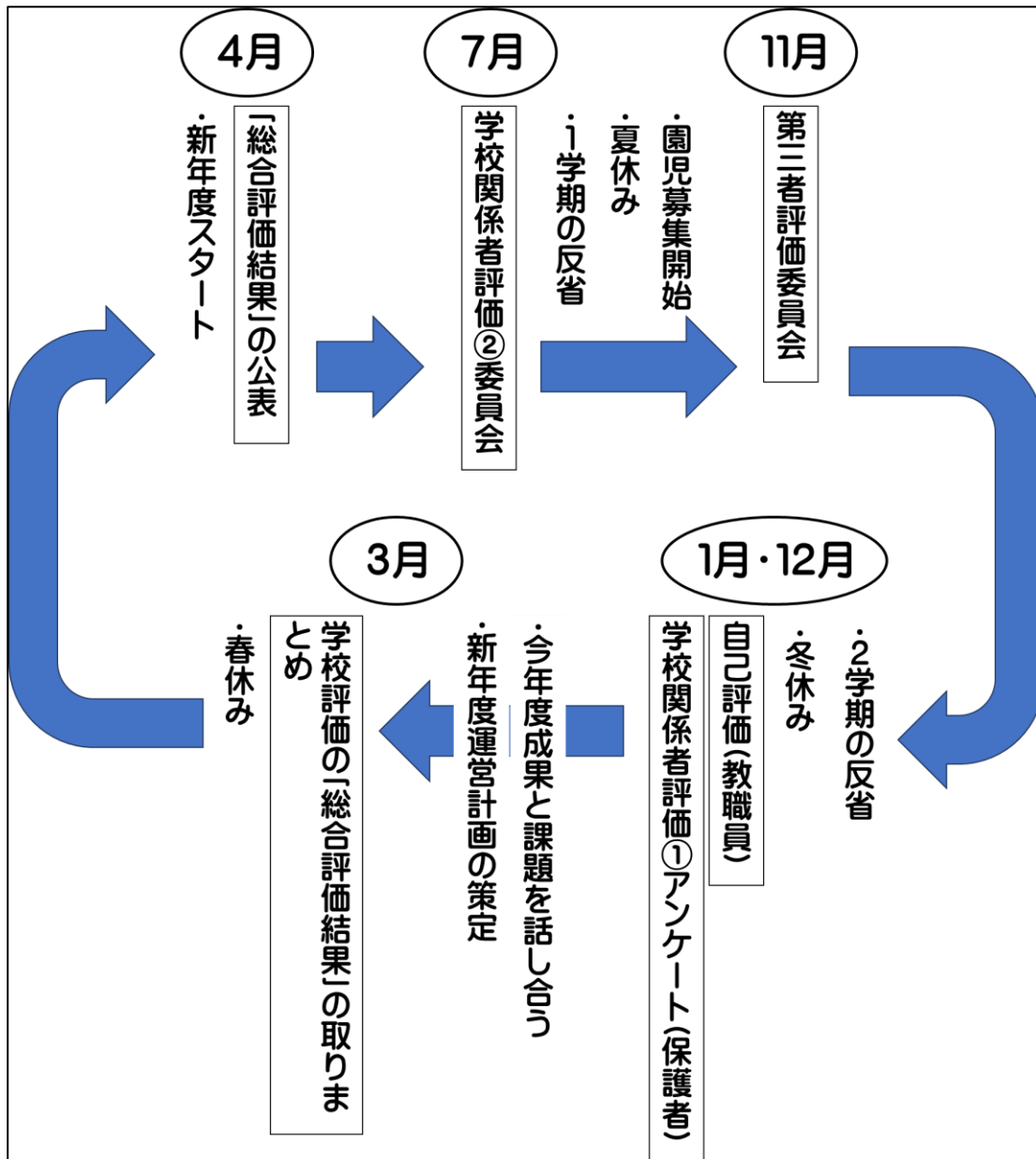
…令和6年12月19日～令和7年1月10日

⑥ 保護者アンケート(学校関係者評価①)

…令和6年12月19日～令和7年1月10日

※ ①②は、6年度の計画作成に役立てられたものであり、③④の評価委員会において、資料として活用している。

#### 4 年間の学校評価のサイクル



## II 評価結果

### 1 学校の教育目標

- ・ **強いからだ** : 心身の調和のとれた発達をめざして
- ・ **かんがえる力** : 直接的・具体的な生活体験を通して豊かな感情や知的な感性の育成をめざして
- ・ **やさしい心** : さまざまな人とのふれ合いを通して人とかかわる力の育成をめざして

### 2 令和6年度重点的に取り組んできた目標

- ・ 業務改善を行い、子どもと向き合う時間の確保に努める。
- ・ 園内研修を通して、子どもの姿を的確に捉え、主体的に遊ぶための、教師の専門性を高める。
- ・ 室内・戸外両方で、遊びが充実する環境作りを継続して行う。
- ・ 日々の振り返り、毎月の振り返り等を継続して行い、常に職員間で情報を共有する。

### 3 評価項目ごとの評価と取組状況

評価対象期間：令和6年4月1日から令和7年1月10日まで

評価項目	評価	取組み状況
(1) 教育目標	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開園以来一貫して園是(教育目標)として掲げ、ホールにも「書」を掲示し、さらにHPや各種パンフレットにも記載し広く周知し、全ての職員が理解している。</li> <li>○保護者・家庭との対話の中で、職員も園の教育方針等について、わかり易く伝えられるように、職員間で常に理解を深めていく。</li> </ul>
(2) 教育課程・指導計画	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程は教育目標を踏まえて作られており、話し合いを経て、必要に応じて見直されている。</li> <li>○子どもの興味・関心を生かした指導計画になっている。</li> <li>○毎日の保育を評価・反省すると共に、職員間での保育の公開や研究会を行い、保育指導の向上に努める。</li> </ul>
(3) 教育環境	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な体験活動を取り入れ、自然や社会との関わりを持てるように留意している。</li> <li>○施設内外全ての環境構成について、季節毎に、遊びの内容に応じて職員間で活発に議論している。</li> <li>○子どもたちが主体的に関わりたくなるような場面や仕掛けをさらに増やしていきたい。</li> <li>○施設内外の整理整頓を心がけ、良質な教育環境の維持に</li> </ul>

		努めている。
(4) 教育の内容・方法	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1～4 期の教育内容は、それぞれ教育課程を基にして作られており、職員間の話し合いで出たアイデアや家庭での子どもの様子なども参考にしながら内容・方法・援助を工夫している。</li> <li>○全教職員ワンチームという意識で保育にあたっている。</li> </ul>
(5) 教師の役割・資質向上	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども一人一人の様子を常に丁寧に観察し、体調が著しく優れないなど担任の判断が難しい場合には、園長・主任に速やかに報告・連絡・相談して対応している。</li> <li>○正しい言葉づかいを常に意識し、子どもの意欲や思いを大切にした言動を心掛けている。</li> <li>○遊びを通して子どもたちの学びを育んでいくために、遊びの展開や発展を見通し、適切な援助が出来るよう、教師自身もさらに様々な研修会へ参加し資質向上に努める。</li> <li>○研修で学んだことは、全職員で共有出来るように今後も情報交換と話し合いの場を設けていきたい。</li> </ul>
(6) 保護者とのかかわり	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者からご意見を頂いた際、職員 1人で抱え込むのではなく、園長・主任に報告・相談し、適切な対応を心がけている。</li> <li>○子どもや職員に関する個人情報や園の内部情報、プライバシーに関わることを他へ漏らしていない。</li> <li>○保護者に対し、クラスだよりや HP・ブログなどで園での活動内容や子どもの姿を伝えているが、今後よりわかり易く発信していきたい。</li> </ul>
(7) 地域との連携	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園外保育等へ出掛けるなどした際には、丁寧に挨拶をしている。</li> <li>○小学校との連携を大切にし、子どもと児童の交流・教師間の交流を積極的に行ってきている。また、東北芸術工科大学と連携したワークショップ事業も行っている。</li> <li>○野草園や少年自然の家、地域の伝統行事にも積極的に参加し、山形の文化に触れ、地域の方々との交流を深めている。</li> </ul>
(8) 専門性に関する研修	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの病気や発達特性について、職員は高い関心を持っていて、専門機関の発する情報を常に注視している。</li> <li>○保育の振り返りに基づき、見通しを持って次の保育計画を立案し、職員間で情報共有と話し合いを重ねている。</li> <li>○他施設や研修会への参加は、自分自身の課題をもって積極的に参加するように努める。</li> </ul>

(9) 危機管理	5	<p>○緊急時対応として、負傷・病気・防犯・災害等で、職員一人一人がその場に応じた適切な行動を取れるように、現行の訓練に加え、即応能力が身に付く避難訓練も実施していきたい。</p> <p>○ICT のシステムを利用して「ヒヤリハット」の確認・原因の解明・未然防止策の検討を行い、防犯カメラの設置等の機器導入を実施する。</p>
----------	---	---

※ 学校関係者評価委員会と第三者評価委員会、学校評価アンケート(保護者)、教職員自己評価を総評し、1～5で評価しています。

※ 評価基準

5:よく達成している 4:達成している 3:あまり達成していない 2:達成していない 1:わからない

#### 4 学校関係者評価委員会と第三者評価委員会における評価に関する指摘事項

(1) 改善や工夫を必要とする事柄についてのご意見 (園経営・教育面)

項目	委員からのご意見	園としての今後の方針
① 情報発信について	園の幼児教育の実際の様子を広く知ってもらうために、更に情報発信を工夫し継続していく必要がある。	園の良さがより分かりやすく伝わるように、情報発信の方法を工夫していきたい。
② 教職員の研修について	教職員相互の保育公開や意見交換を大切に、園内での日常的な研修を充実していくことが大切である。	教職員と話し合い、一人一人の成長につながる研修のあり方を探り、実践していきたい。
③ 参観の方法について	園行事や通常の保育参観の他に、普段の子どもたちの姿を見てもらえるような参観の実施を検討してもらいたい。	子どもの姿から保護者も学ぶことができるような新しい参観スタイルを検討してみたい。
④ 危機管理について	不審者が突然保育室に入ってきた場合の対処はどうするのか。警察とも連携して、指導・助言を得るようにしたいものである。	防犯設備の充実とともに、緊急時の具体的な初動対応や対策を、警察の協力をいただき進めていきたい。

(2) 良好だと思われる事柄についてのご意見 (園経営・教育面)

項目	委員からのご意見	園としての今後の方針
① 全体について	改めて素晴らしい幼稚園だと思う。	応援の言葉を何よりの励

		みとして、これからも本園ならではの「特色ある行事や活動」を展開し、魅力ある幼稚園作りを進めていきたい。
② 教育目標について	教育目標(園是)は開園時から一貫して明確に示され、現在も園内(ホール)にも大きく掲げられ、教職員に継承・浸透していると思われる。	様々な教育・保育の場面を通して振り返りを行い、着実に目標達成を目指していく。
③ 教育課程と指導計画について	会議を経て毎年見直していて、それに対する月案・週案があるなど、きちんとシステム化されている。	教育課程から週案までの道筋が形骸化しないよう気を付け、実践の精度を高めていく。
④ 教育環境について	自由に行き来できる開放的な園舎・床暖房・新設された園庭の「ぼうけんの森」・温かい給食など、素晴らしい施設や環境がある。	限られた予算を有効に活用し、最大限の効果を得られるよう環境整備に努める。
⑤ 冒険の森について	明確な設置コンセプトを持ち、色々な学びや体験、気付きにつながる配慮が随所に設けられていて素晴らしいと思う。	幼児教育で目指す主体的な遊びを促し、探究心を育み、友達と触れ合う場となるよう更に工夫していく。
⑥ 教員について	先生方の園児に関わる姿勢や笑顔が良い。教育内容や子どもへの対応に保護者も満足しているようであり、素晴らしい園だと思う。 新採用など若手教諭の資質向上に更に努めてほしい。 教職員が一生懸命教育に当たり、子どもたちはどの学年でも生き生きと活動している。	保護者が信頼し安心して子どもを預けられる園、子どもが喜んで登園する園を目指してこれからも努力していく。今後も誠意をもって子どもたちに向き合い、教育内容の充実を図る。

## 5 教育目標と令和6年度重点目標の達成状況

### (1) 教育目標について

目標	評価	取り組み状況
強いからだ	5	園庭での全身を使った日々の遊びの充実の他、園外活動(野草園等)を行う事で、体力面の向上が見られた。
かんがえる力	5	日常の友だちとの会話や対話の中で、相手の考えを認めて受け入れたり、協働的に活動を展開する姿が見られた。
やさしい心	5	異年齢との交流も多くあり、面倒を見たり、一緒に教えながら遊んだりする姿が見られた。また、小さな命(身近な昆虫や爬虫類等)との関わりを多く持てたことで、1つ1つの命を大切に作る姿が見られた。

※ 教育目標の3つの観点について、子どもの姿をもとに評価をしたものです。

### (2) 重点目標について

重点目標	評価	取り組み状況
業務改善を行い、子どもと向き合う時間の確保に努める	4	タブレットやPCの導入により、事務的作業の効率を上げてきているが、まだシステムを導入して間もないため、職員全員がスムーズに使える様、使用方法の簡略化を進め、各自習熟に努めているところである。
園内研修を通して、子どもの姿を的確に捉え、主体的に遊ぶための、教師の専門性を高める。	4	子ども理解のために、毎月各学年毎に、子どもの姿を元に次の展開の見通しを立て、計画を実施している。今後も一人一人に寄り添い活動が発展していくよう、研修を通して更にスキルアップしていく。
室内・戸外両方で、それぞれに遊びが充実する環境作りを継続して行う。	5	廃材遊びの充実(室内)や新しく設置した「ぼうけんの森」(戸外)を利用し、自然物を教材に取り入れながら遊びを発展させていくことが出来た。今後「ぼうけんの森」の活用をより充実させ、利用する時間や遊びの幅を広げ、学びの場を確保していく。
日々の保育(活動)の振り返り、月毎の振り返りを継続して行い、常に職員間で情報を発信・共有する。	4	一人一人の成長や課題・保育を振り返りながら記録しているが、行事等準備の際、時間の確保が厳しい時もある。今後、継続できる様、日々業務改善と最適化に努めていき、記録の様式を簡単にするなど工夫していきたい。

※ 本年度の重点としてあげた項目毎に、本年度実施した「自己評価」・「保護者アンケート」結果をもとに達成状況を表したものです。